

## 近藤 泰正先生を悼む

堀川病院前理事長の近藤泰正先生が、令和 8 年 5 月 8 日にご逝去されました。衷心より、ご冥福をお祈り申し上げます。

先生は、半世紀以上の長きにわたり堀川病院にご勤務され、院長、理事長を歴任されました。堀川病院は、往診や訪問看護など日本の在宅医療の草分け的な存在ではありますが、先生はその中心的役割を担われ、昼夜を問わず地域の皆様のためにご尽力なさいました。

私は、平成 11 年に堀川病院に入職し、訪問診療というものを初めて経験させていただきましたが、先生からは「その人の病気だけを診るのではなく、その方の生活も含めて診療しなければならない」と在宅医療に対する心構えを教えていただきました。

理事長にご在任中、平成 16 年にはクリニックほりかわ、翌年 17 年には介護老人保健施設じゅんぶうの開設という 2 つの大きな事業を成し遂げられました。これにより堀川病院と合わせ、三位一体体制が作られ、現在の当法人の医療、介護の礎となっております。

また、医療崩壊といわれた厳しい時代もありましたが、先生の強いリーダーシップのもと「ピンチはチャンスでもある」という前向きな思考で、職員とともに幾多の苦難も乗り切ってこられました。

そして、これまでの先生のご功績が認められ、平成 22 年には公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰を受賞されました。

また、先生は医療人だけでなく、様々な文化や芸術に造詣の深い教養人でした。プライベートでは先生は能楽を趣味にされ、金剛流能楽師に能楽を習っておられました。私も先生ご夫婦と一緒に能・狂言を観に行ったりのご住職と親交のある嵯峨野のお寺にお招きいただき紅葉を鑑賞させていただいたことなど今でも楽しい思い出として心に残っています。

2 年前に奥様に先立たれた後は、先生お一人でのご自宅での生活でしたが、美味しいものを食べながら自宅で過ごしたいという思いを叶えるべく、先生が育てられた職員、元職員をはじめ多くの方々の献身的な在宅医療や介護を受けながら、5 月 8 日に穏やかに人生の舞台を降りられました。生前は在宅医療に人生を捧げられ、最後はご自身がつくりあげた在宅医療に助けられながらの一生でした。今頃は、最愛の奥様とデートコースだった広沢池など嵯峨野辺りを仲良くドライブされているのではないのでしょうか。

近藤先生、長い間ご指導いただきありがとうございました。先生と共に医療に携わられたことを大変感謝しております。先生のご遺志と堀川病院の伝統は次世代へと伝えて参ります。どうぞ安らかに眠りください。

社会医療法人西陣健康会 堀川病院  
前病院長 相良 幸彦